

【機能面】 副首都として必要な都市機能の充実

大阪は自らの改革によって大都市としての機能を向上させてきました。世界での都市間競争に対抗できる成長の担い手としての機能、圏域の安全安心を支えるための機能など、着実な前進が図られています。

今後さらに、大都市としてのポテンシャルに磨きをかけ、ハード・ソフト両面から副首都にふさわしい都市機能の充実を図るため、大阪府・大阪市として自らの改革を進めます。

これまでの取組み

取組みの方向性と主な取組み

都市インフラの充実

空港運営へのコンセッション導入、鉄道延伸の事業化（北大阪急行、大阪モノレール）、大阪都市再生環状道路のミッシングリンクの解消などの取組みを推進

基盤的な公共機能の高度化

安全・危機管理機能の強化をはじめ、府市連携の取組み等を通じた都市機能・住民サービスの向上の推進

規制改革や特区による環境整備

特区制度の活用（H23～総合特区、H26～国家戦略特区）など、『世界で最もビジネスしやすい』環境づくりを推進

産業支援や研究開発の機能・体制強化

成長戦略を一本化し政策連携を深めながら産業支援を充実

人材育成環境の充実

教育の充実を重視し、小・中・高等学校における英語教育充実などによりグローバル人材の育成に注力



文化創造・情報発信の基盤形成

芸術文化振興や観光プロモーションの新たな枠組みによる推進体制を構築



JNTO「訪日外客数」観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとに大阪観光局で推計

グローバル競争力を支える都市インフラとしての基盤を確立します。

- ・なにわ筋線の事業化（空港アクセス強化）
- ・大阪市営地下鉄の株式会社化（民営化）
→2018.4大阪市高速電気軌道株式会社による営業開始
- ・大阪都市再生環状道路の整備推進とシームレスな高速道路料金の実現
- ・民間運営による関西国際空港の成長促進
- ・大阪府・大阪市の港湾管理一元化



暮らしやすく、持続可能な都市としての基盤を確立します。

- ・大阪府立公衆衛生研究所と大阪市立環境科学研究所の統合
→2017.4 大阪健康安全基盤研究所の創設
- ・水道・下水道・ごみ処理などの生活インフラの規模の最適化や経営形態の見直し
- ・消防・防災のあり方検討



■大阪健康安全基盤研究所

ソフト面からグローバル競争力を支える基盤を確立します。

- ・関西圏国家戦略特区、関西イノベーション国際戦略総合特区の活用
→大阪府域は5地区が確定
- ・新たなビジネスの社会実証や実装に向けた環境整備



大阪に新たな事業活動を生み出す基盤を確立します。

- ・大阪府立産業技術総合研究所と大阪市立工業研究所の統合
→2017.4 大阪産業技術研究所の創設
- ・大阪府と大阪市の産業支援機関の統合も視野に入れた産業支援機能・体制の強化



■大阪産業技術研究所

大阪の成長をけん引する高度な専門性を有する人材育成の基盤を確立します。

- ・新大学の設置（大阪府立大学と大阪市立大学の統合）
- ・国際バカロレアコースを設ける
中高一貫教育校の開設（2019.4予定）

大阪のブランド化、発信力強化の基盤を確立します。

- ・（仮称）大阪新美術館の閉館（2021年度）をはじめとする文化創造基盤の拡充
- ・大阪観光局を司令塔とする都市魅力推進体制の充実・強化
- ・国際的な会議やスポーツイベントの開催、万博やIRを契機とした情報発信機能の充実

